

令和元年度事業報告—(案)—
(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

I 法人の状況について

1 本年度事業計画における重点項目の実施状況

(1) 支援・広報の発展、充実

- ① 「性暴力被害者サポートネットワーク茨城」における「相談・コーディネート」の拠点としての支援を充実する。
 - 専門機関との交流・研修、内部研修
医療・学校・県・警察関係及び当センター支援活動員に対する研修会を開催した。
(R1.9.10)
 - 関係機関との連携会議
法テラス、弁護士会、水戸地方検察庁、茨城県警察、茨城県立こころの医療センター及び当センターによる連携会議に参加し情報交換した。(R1.5.14、8.27、11.19)
 - 相談員の負担軽減のためのスーパーバイズ
電話受理の都度実施した他、外部講師等によるスーパーバイズを実施した。
 - 性暴力被害者支援を周知するため、「性暴力被害者サポートネットワーク茨城」モバイル用ホームページの改訂、茨城県及び市町村広報紙に案内を掲載していただいたほか、広報ツールの充実を図った。
- ② 社会全体で被害者等を支える気運の醸成に寄与するため、茨城県及び市町村の広報紙に広報文の掲載を要請し、被害者支援の浸透を図る。
 - ・広報紙、ホームページに記事掲載のご協力をいただいた。

③ 支援活動員の増員について

	令和元年度	平成30年度	増減	備考
支援活動員	39	35	4	
相談員	13	14	-1	

④ その他

講演会「被害者心情への理解 ～通学路で起きた事故から～」
講師 渡邊 理香 氏
を開催 (R1.11.11 於：茨城県庁講堂)

(2) 財政基盤の確立

寄附金付き自動販売機 (年度末 126 台)	129 万円
預保納付金支援助成	385 万円
大和証券福祉財団助成	30 万円
茨城県共同募金会助成	26.5 万円
茨城新聞文化福祉事業団助成	20 万円

2 役員等に関する事項

富田信穂理事長が退任し、後任に荒川誠司副理事長が就任、副理事長には森田ひろみ理事が就任した。(R1.10.24 付)

年度末現在 理事：10名、監事：2名

第1号議案

3 会員等に関する事項

	期末	期初	備 考
正会員	74	65	退会 2、入会 11
個人賛助会員	117	112	退会 1、入会 6
法人賛助会員	73	68	退会 0、入会 5

4 職員に関する事項

職員の異動はなかった。

5 総会、役員会等に関する事項

総 会 1回開催（6月11日）

理事会 4回開催（第30回～第32回（臨時、書面審議を含む））

6 その他

預保納付金助成事業申請を行った。

令和2年度の助成事業として、①犯罪被害相談員の育成及び支援に関わる人材育成（420万円）

②支援に関わる資機材整備（100万円）として、総額520万円を申請し認められた。

第1号議案

II 事業内容について

本法人定款第4条に基づき策定した、令和元年度の事業計画に基づいて行った事業等につき以下のとおり報告する。

1 支援事業（公1）

(1) 被害者等に対する電話相談及び面接相談事業

【表1】に支援件数、【表2】に直接的支援件数を示す。

【表1】 令和元年度支援件数			【表2】 直接的支援内容別件数		
区分	令和元年度	平成30年度	支援内容	令和元年度	平成30年度
電話相談	473	459	法廷付添い	37	47(9)
直接的支援	43	67	検察庁付添い	1	5
面接相談 (法律相談含)	25	65	警察署付添い	0	0
自助グループ	5	5	弁護士事務所付添い	0	3
合計	546	596	自宅訪問・生活支援	0	2
性暴力被害者サポートネットワーク茨城			病院付添い	0	0
電話相談	156	98	行政付添い	0	1
面接相談	3	3	その他	5	9(1)
直接的支援	0	10	合計	43	67(10)
合計	159	111			

()は性暴力サポートネットワーク

(2) 被害者等への物品の供与又は貸与、役務の提供及びその他の方法による直接的支援事業

【表2】の直接的支援内容別件数のとおり、法廷付添いが主な支援となっている。

(3) 犯罪被害者等給付金の支給を受けようとする被害者等が行う裁定の申請を補助する事業

本年度犯罪被害者等給付金の申請補助を行う案件はなかった。

(4) 被害者等自助グループへの支援事業

遺族対象の自助グループ「よつばのクローバー」を年間5回開催した。

平成30年度より、自助グループの開催場所を方面別に県内3カ所に増やし支援を行った。

全ての感情をそのまま受け止めて支持してもらえる自助グループへの参加が、精神的被害の回復を早くすることに役立つと言われており、今後も、参加者の思いを大切にしながら地道に活動を続けていきたい。

(5) 他機関との連携による被害者等支援事業

① 茨城県警察

茨城県警察警務部警務課犯罪被害者支援室と日常的に連携を図っている。

また、犯罪被害者等早期援助団体として、被害者等の要望がある時は、県警犯罪被害者支援室からの支援要請を受け支援している。その他、以下の様々な活動を連携して行った。

R1.7.25～R2.2.27 被害者支援地区連絡協議会 講師（19回）

R2.1.22 茨城県警察 被害者支援専科教養 講師

第1号議案

② 茨城県

茨城県生活文化課安全なまちづくり推進室「被害者支援相談窓口」と日常的に連絡を取り合っている。

- ・茨城県、茨城県警察、当センターによる連携支援調整会議（R1.5.27）
- ・市町村被害者支援窓口担当者研修 講師（R1.5.13）

③ 性暴力被害者サポートネットワーク茨城

- ・性暴力被害者サポートネットワーク茨城意見交換会（R1.6.20、9.10、12.19）
- ・茨城県からワンストップセンター業務を委託（医療費補助 517,000 円、余剰金は返金条件付き）（R1.9.2）
- ・茨城県産婦人科医会、(一社)茨城県医師会、茨城県警察と当センターの4者協定（H27.11）で開設した「性暴力被害者サポートネットワーク茨城」に茨城県が加盟し、5者協定となった。（R1.12.19）
- ・医療関係者、学校関係者、県関係者、警察関係者等及び当センター支援活動員対象の研修会（R1.9.10）
- ・法テラス被害者支援連絡会（R1.5.14、8.27、11.19）
法テラス、弁護士会、水戸地方検察庁、茨城県警察、茨城県立こころの医療センター、当センター
- ・茨城県立こころの医療センター情報交換会（R1.4.16、5.14、8.27、11.19）
- ・性暴力被害者サポートネットワーク協力要請
協力病院（47 病院）、精神科病院（8 病院）
※ 「協力病院一覧」として、方面別に 7 病院を茨城県及び当センターのホームページに掲載
- ・モバイル用ホームページの改訂

④ 全国被害者支援ネットワーク

- ・全国事務局長会議（R1.4.19）
- ・コーディネーター会議（R1.5.20、9.9、11.13）
- ・研修・支援活動部会（R1.5.20、9.9、11.13）
- ・関東・甲信越ブロック事務局長会議（R1.10.4）

⑤ その他

- ・イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン贈呈式（H31.4.14）
- ・水戸市ボランティア連絡協議会総会（H31.4.20）
- ・茨城県いじめ問題対策協議会（茨城県福祉相談センター）（R1.7.2）
- ・交通事故で家族を亡くした子どもの支援に関する意見交換会（茨城県県民文化センター R1.11.21）
- ・性暴力被害者支援センター関東近郊連絡会出席（江戸川区区民センター、R1.12.13）
- ・大和証券ボランティア活動助成金贈呈式（R2.1.9）

第1号議案

2 広報事業（公2）

（1）広報資料の充実

- ① 広報用グッズとしてセンター名入り反射材ストラップ（6,100個）、センター名入りボールペン（3,500本）を作成し、被害者支援地区連絡協議会や各種キャンペーン等で配付した。
- ② 「性暴力被害者サポートネットワーク茨城」モバイル用ホームページを改訂した。
- ③ ホームページを更新した。（事業報告、決算情報公開、養成講座開講案内、被害者支援講演会案内等）
- ④ ニュースレター（No.34、No.35）を発行した。（関係機関・団体、会員等へ配布）

（2）広報啓発活動の推進

- ① 犯罪被害者支援啓発講演会（R1.11.11）茨城県庁講堂
共催：茨城県、茨城県警察
演題：「被害者心情への理解」～通学路で起きた事故から～
講師 渡邊 理香氏（交通事故のご遺族）
- ② 県内市町村への広報啓発
昨年に引き続き県内市町村に当センターの支援事業へのご理解、ご支援をお願いした。その結果、財政的支援をいただくことができた。
- ③ 被害者支援連絡協議会
次の19の地区で当センターの活動報告を行った。
鹿嶋地区(R1.7.25)、ひたちなか地区(R1.10.29)、常総地区（R1.11.7）、土浦地区（R1.11.12）、石岡地区(R1.11.14)、竜ヶ崎地区（R1.11.15）、筑西地区（R1.11.15）、水戸地区（R1.11.18）、境地区（R1.11.20）、鉾田地区（R1.11.21）、取手地区（R1.11.22）、太田地区（R1.11.22）、那珂地区（R1.11.25）、稲敷地区（R1.11.25）、古河地区（R1.11.25）、神栖地区(R1.11.27)、高萩地区(R2.1.17)、日立地区(R2.2.5)、下妻地区(R2.2.27)
※ 茨城県被害者支援連絡協議会総会（R1.10.16）は、台風19号による被災のため中止。
- ④ 茨城県関係
市町村被害者支援窓口担当者研修 講師（R1.5.13）
- ⑤ その他の関係機関・団体関係
検察庁、裁判所、行政の担当者等との連携が支援に生かされている。
- ⑥ 企業等への広報
企業等を訪問し、事業内容の説明を行うとともに被害者支援自販機の設置のお願い、賛助会員加入のお願い等を行った。（茨城インシュアランス AGENT 株式会社、自動車安全運転センター茨城事務所、つくば市、常陸大宮市、筑波記念病院、学園中央自動車教習所、鹿島自動車教習所、株式会社エディファミリー等）
- ① メディア等による広報
 - ・茨城県生活文化課により茨城県広報紙「ひばり」（R2.1）及び各市町村広報紙に、性暴力被害の専用相談電話「性暴力被害者サポートネットワーク茨城」への案内記事を掲載していただいた。
 - ・水戸市地区時刻表広告
 - ・支援活動員養成講座受講生募集、被害者支援講演会案内広報

第1号議案

毎日新聞、茨城新聞、読売新聞、朝日新聞、読売タウンニュース、月刊ぷらざ、月刊みと、月刊サクラサク 他

② キャンペーン

- ・ロックの日街頭キャンペーン (R1.6.9)
- ・茨城県共同募金会街頭キャンペーン (R1.10.1)
- ・安全なまちづくり水戸駅キャンペーン (R1.10.11)
- ・犯罪被害者週間水戸駅キャンペーン (R1.11.25)
- ・イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン (H31.4.10、R1.5.11、6.11、8.11、9.11、10.11、12.11) イオンタウン水戸下市店において毎月11日に実施されるキャンペーンに参加

3 養成・研修事業 (公3)

(1) 支援活動員等の養成及び研修事業

① 養成講座

第21期支援活動員養成講座(初級編・中級編)開講 R1.5~R2.3(各10回)

初級受講者8名、中級受講者2名(うち上級進級1名)

第20期支援活動員養成講座(上級編)開講 H31.4~R2.3(20回)

受講者10名、支援員認定4名

② 支援活動員認定者対象の継続研修

- ・相談員、支援活動員継続研修会12回

原則毎月第1木曜日

- ・養成講座聴講

③ 全国被害者支援ネットワーク及び外部研修会への参加

- ・「関東・甲信越ブロック質の向上上半期研修会」(R1.6.22~23 於：神奈川)
- ・「DV被害者とリベンジポルノの現状と課題」(R1.6.23 於：水戸生涯学習センター)
- ・「令和元年度思春期こころの健康セミナー」(R1.8.2 於：県立図書館)
- ・「令和元年度支援活動責任者研修」(R1.8.2~3 於：日本財団)
- ・「茨城いのちの電話公開講座」(R1.8.10 於：つくば国際会議場)
- ・「支援者のための暴力被害者に対する基礎講座」(R1.9.3 於：ドーンセンター)
- ・「DV・性暴力と子どもの虐待被害者支援基礎講座」(R1.9.3 於：水戸生涯学習センター)
- ・「全国犯罪被害者支援フォーラム2019」(R1.10.18 於：東京 イイノホール)
- ・「秋期全国研修会」(R1.10.19~20 於：東京 スタンダード会議室秋葉原)
- ・「LGBT研修」(R1.10.21 於：茨城県総合福祉会館)
- ・「PTSD対策専門研修」(R1.10.23 於：アルカディア市ヶ谷私学会館)
- ・「被害者の声を聴こう~よりよい支援のために~」(R1.11.14 於：上智大学)
- ・「ハートバンド2019年第17回全国大会」(R1.11.30 於：浅草セントラルホテル)
- ・「DV被害者支援研修講座」(R1.12.17 於：水戸生涯学習センター)
- ・「PTSD対策専門研修(犯罪・性犯罪被害者コース)」(R2.1.22 国立精神・神経医療研究センター主催、於：新宿エスティックビル)
- ・内閣府「性暴力被害者等支援体制整備事業」相談員研修(R2.1.30~31 於：東京ウイメンズプラザ)

第1号議案

- ・リフカー研修 (R2.2.2 於：四日市市じばさん三重)
- ・「2019年度犯罪被害者支援企画いのちかなでる in 岐阜」(R2.2.21 於：岐阜ハートフルスクエア)

④ その他

- ・全国被害者支援ネットワーク質の向上研修上半期北海道・東北ブロック研修会講師 (R1.7.11～12 秋田)
- ・被害者支援センターすてっぷぐんま 講師 (R1.8.28)
- ・ふくしま被害者支援センター 講師 (R1.9.24)
- ・令和元年度秋季全国研修会「性被害者への支援」講師 (R1.10.19)
- ・全国被害者支援ネットワーク質の向上研修上半期北海道・東北ブロック研修会講師 (R1.11.7～8 福島)
- ・茨城県学校保健会養護教諭部会研究協議会講師 (R1.11.19 教育プラザ)
- ・常磐大学令和元年度被害者心理学「民間団体における被害者支援」ゲストスピーカー (R1.12.17)
- ・全国被害者支援ネットワークコーディネーター研修会(前期)講師 (R2.1.28)
- ・茨城県福祉相談センター女性相談員勉強会講師 (R2.3.6 茨城県生涯学習センター)

(2) 被害者等の実態に関する調査及び研究事業

- ① 常に新しい情報の入手に努め、関連図書の実態を調査した。
- ② 内閣府、警察庁、全国被害者支援ネットワーク、武蔵野大学、読売新聞等関係機関のアンケートや調査に対応した。

III 会務、その他

1 総会

令和元年度 定時社員総会 令和元年6月11日
審議 平成30年度事業報告(案)について
平成30年度決算報告(案)について
職員給与規定の改訂について
役員改選について
報告 平成30年度収支補正予算
令和元年度事業計画
令和元年度予算資金調達及び設備投資の見込み
令和元年度収支予算

2 理事会

- 第30回理事会 平成31年5月21日
平成30年度事業報告(案)について
平成30年度決算報告(案)について
職員給与規定の改訂について
- 令和元年度臨時理事会 令和元年6月11日
理事長等互選について

第1号議案

- 第31回理事会 令和元年10月24日
新理事長の選定について
新副理事長の選定について
- 第32回理事会 令和2年3月16日～令和2年3月25日（書面審議）
令和元年度補正予算書（案）について
令和2年度事業計画（案）について
令和2年度収支予算（案）について
特定費用準備資金（いば被支セ期・21）の運用について
就業規定改訂について

3 助成申請

令和2年度預保納付金支援金（結果：採択 金額520万円）

- ・犯罪被害者等早期援助団体の犯罪被害相談員の育成及び支援に関わる人材養成（420万円）
- ・犯罪被害者支援に関わる資機材整備（100万円）

4 事務局会議

随時開催

5 その他

- ・茨城県警察本部長感謝状受賞 荒川誠司副理事長、横須賀美和子相談員（R1.6.19）
- ・警察庁長官表彰「警察協力章」受賞 富田信穂理事長（R1.7.11）
- ・アサヒビール株式会社様より寄附金受領（R1.7.22）
- ・水戸市大型店協議会様より寄附金受領（R1.8.30）
- ・茨城セキスイハイム株式会社様より寄附金受領（R1.11.28）
- ・株式会社セイブ様より寄附金受領（R1.12.16）